

遠賀川下流左岸圏域
河川整備計画

平成 22 年 7 月

福 岡 県

目 次

第1章 河川及び圏域の概要	1
1-1 圏域の概要	1
1 圏域内河川の状況	1
2 河川の概要	3
3 地形・地質	6
4 気候	8
5 歴史・文化	9
6 土地利用	11
7 自然公園等の指定状況	12
8 人口・産業経済・交通	13
1-2 治水と利水の歴史	15
1 治水の歴史	15
2 利水の歴史	15
第2章 河川の現状と課題	16
2-1 治水の現状と課題	16
2-2 河川利用及び河川環境の現状と課題	18
1 河川利用	18
2 河川環境	19
3 河川の水質	27
第3章 河川整備計画の目標に関する事項	30
3-1 河川整備計画における基本理念	30
3-2 河川整備計画の対象区間	31
3-3 河川整備計画の対象期間	31
3-4 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標	32
3-5 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持並びに河川環境の整備と保全に関する目標	33

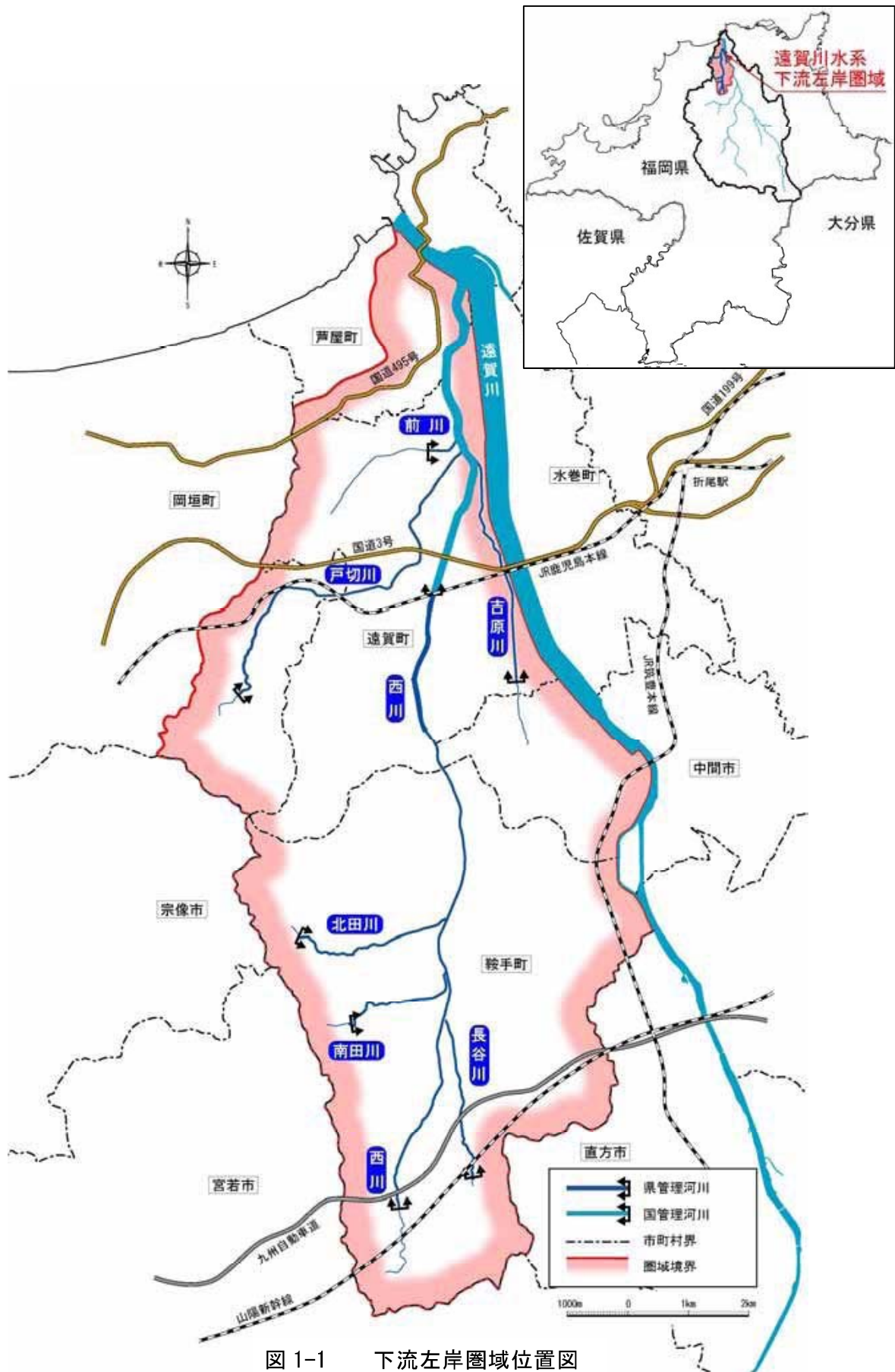
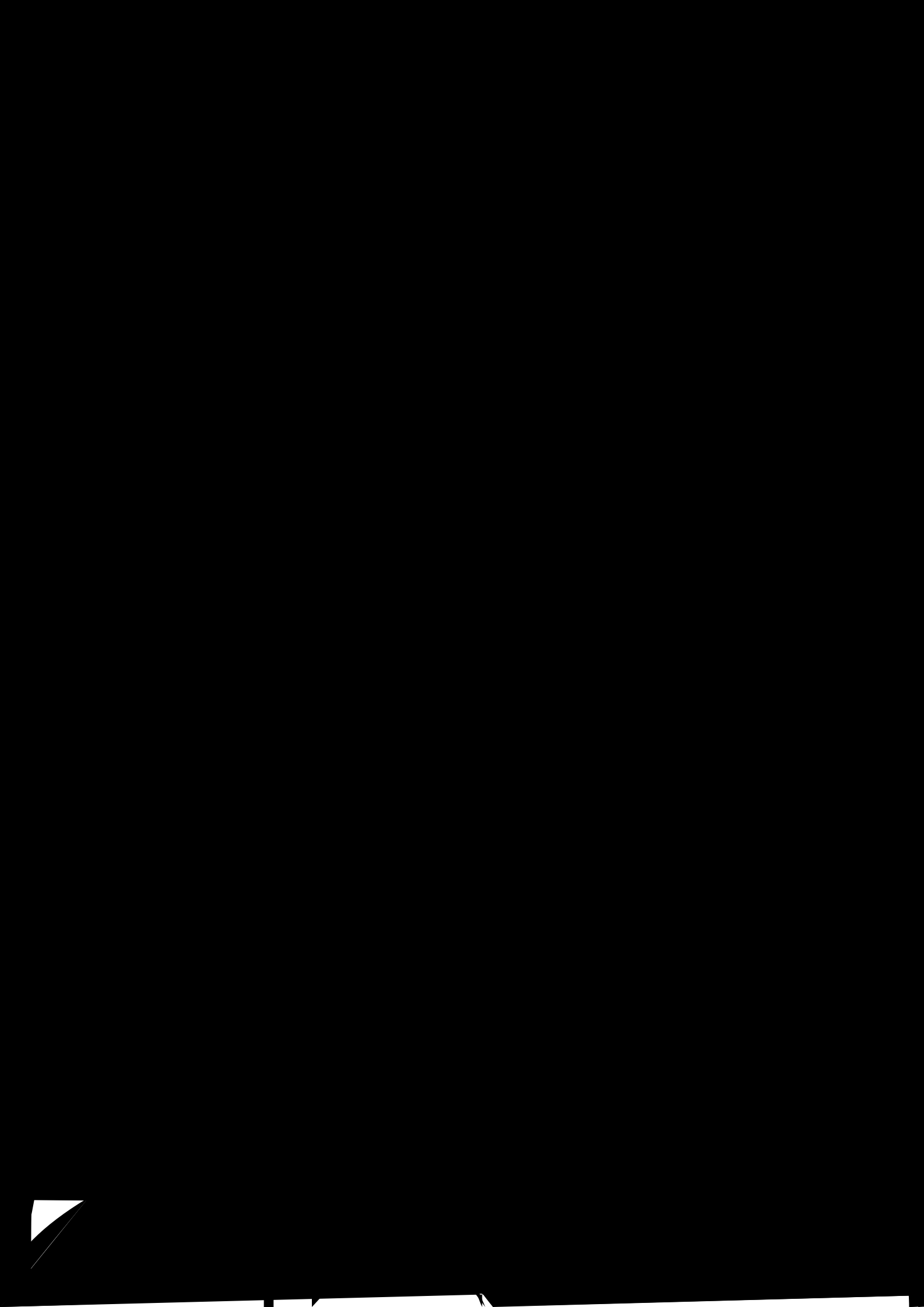


图 1-1 下流左岸圏域位置图



(3) 戸切川（二次支川）

戸切川は、岡垣町戸田山に端を發し、北に流れ、中流の戸切地区で東に向きを変え遠賀町市街地の西側を流下し、西川左岸に流入する河川です。

上流部は、山あいの耕作地が河川沿いに隣接し、中流部から下流部にかけては、遠賀町市街地と田園地帯が広がっています。



戸切川

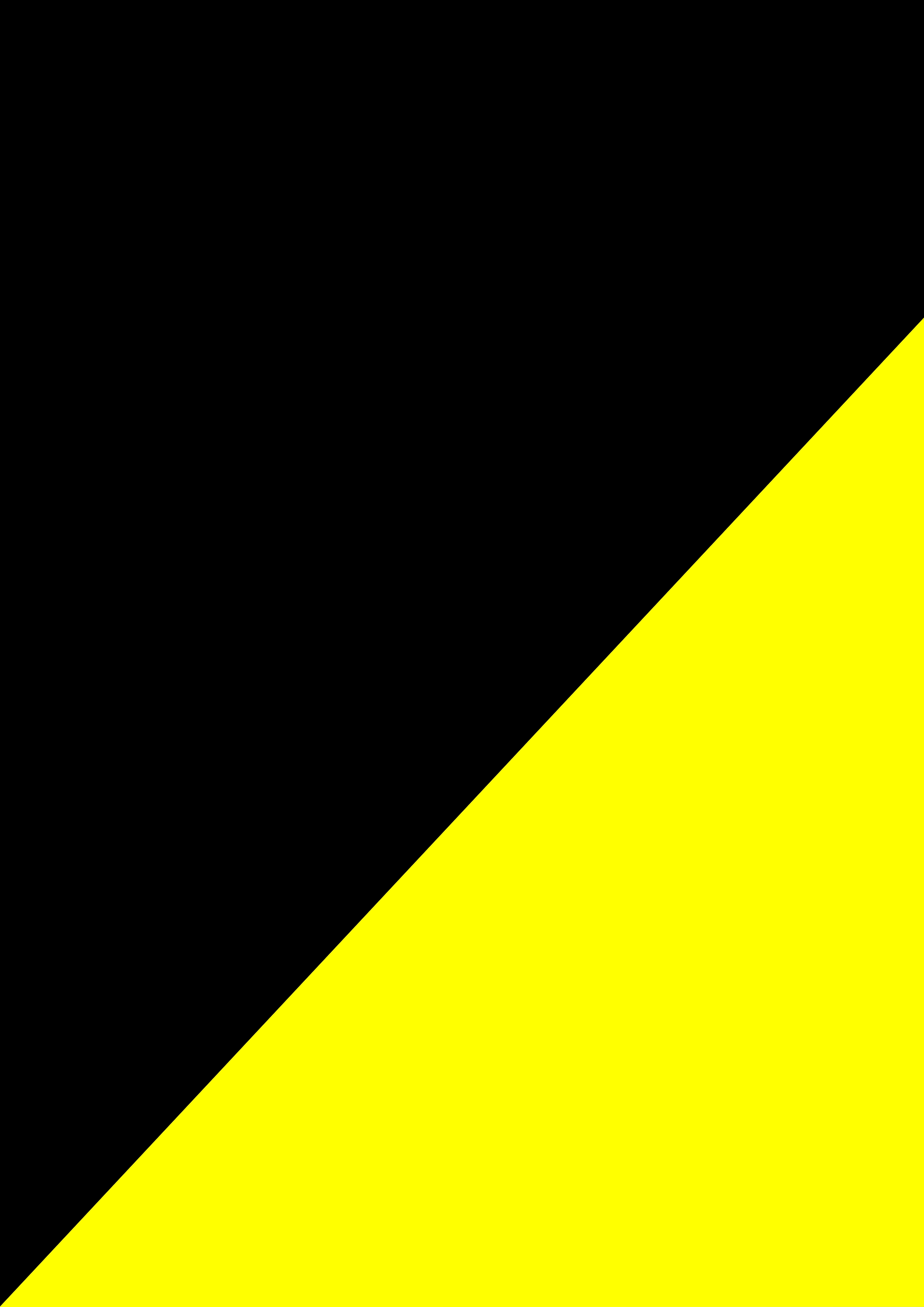
(4) 吉原川（二次支川）

吉原川は、中間市上底井野地区の丘陵部に端を發し、遠賀町浅木地区を北に流下し、西川右岸に流入する河川です。

上・中流部は田園地帯が広がり、西川合流部の河川沿いには住宅地が広がっています。



吉原川



6. 土地利用

下流左岸圏域の土地利用をみると、田・畑の耕作地等や、雑種地が多いものの、本圏域を構成する市町全体では、北九州都市圏と福岡都市圏のベッドタウンとして宅地化が進んでいます。山林の大半はスギ・ヒノキの植林地及びシイ・カシ萌芽林で構成され、田・畑では、米、花卉、野菜等が生産されています。

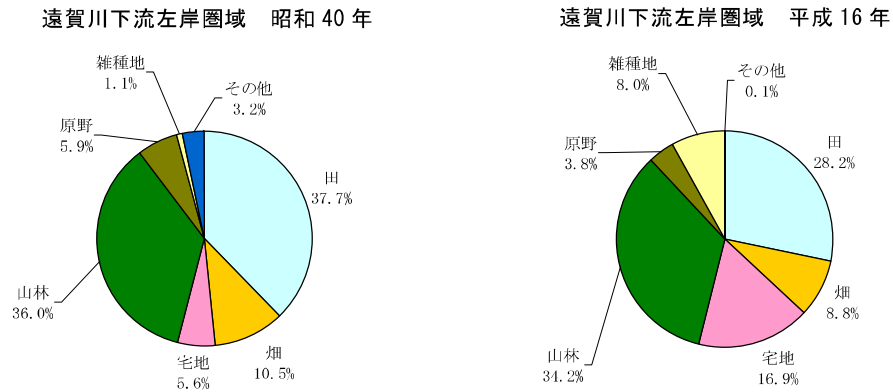


図 1-6 遠賀川左岸 地目別面積比率の変化（昭和40年と平成16年）
〔出典：福岡県統計年鑑より、下流左岸圏域を構成する市町の全体面積での比率〕

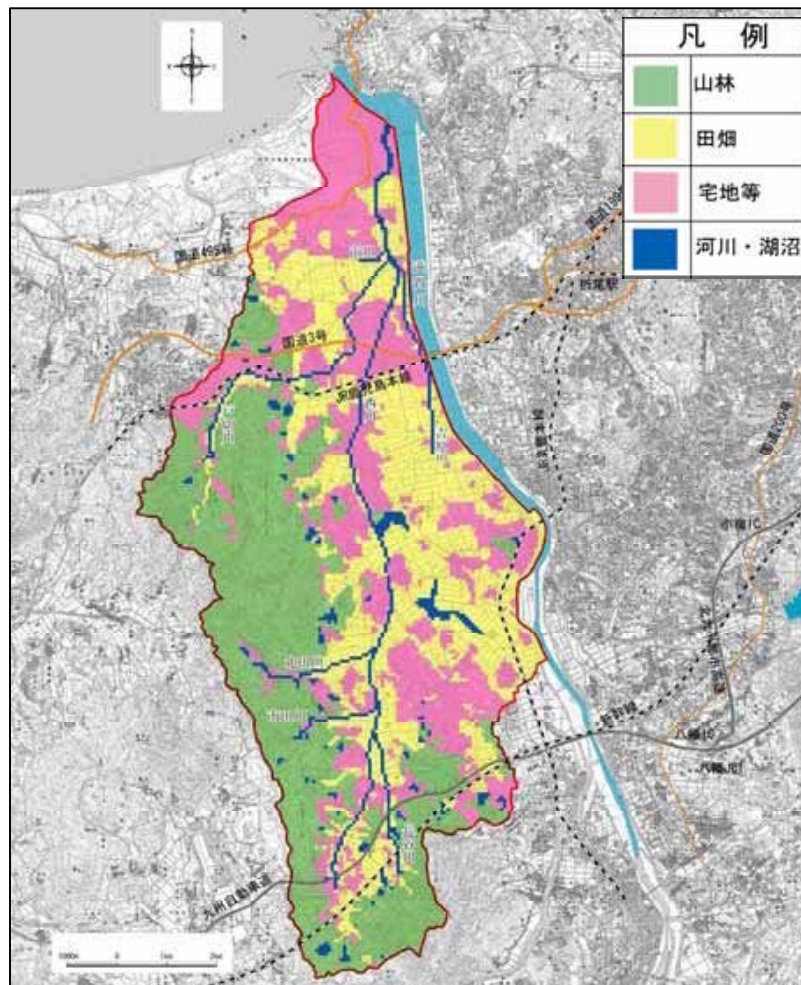
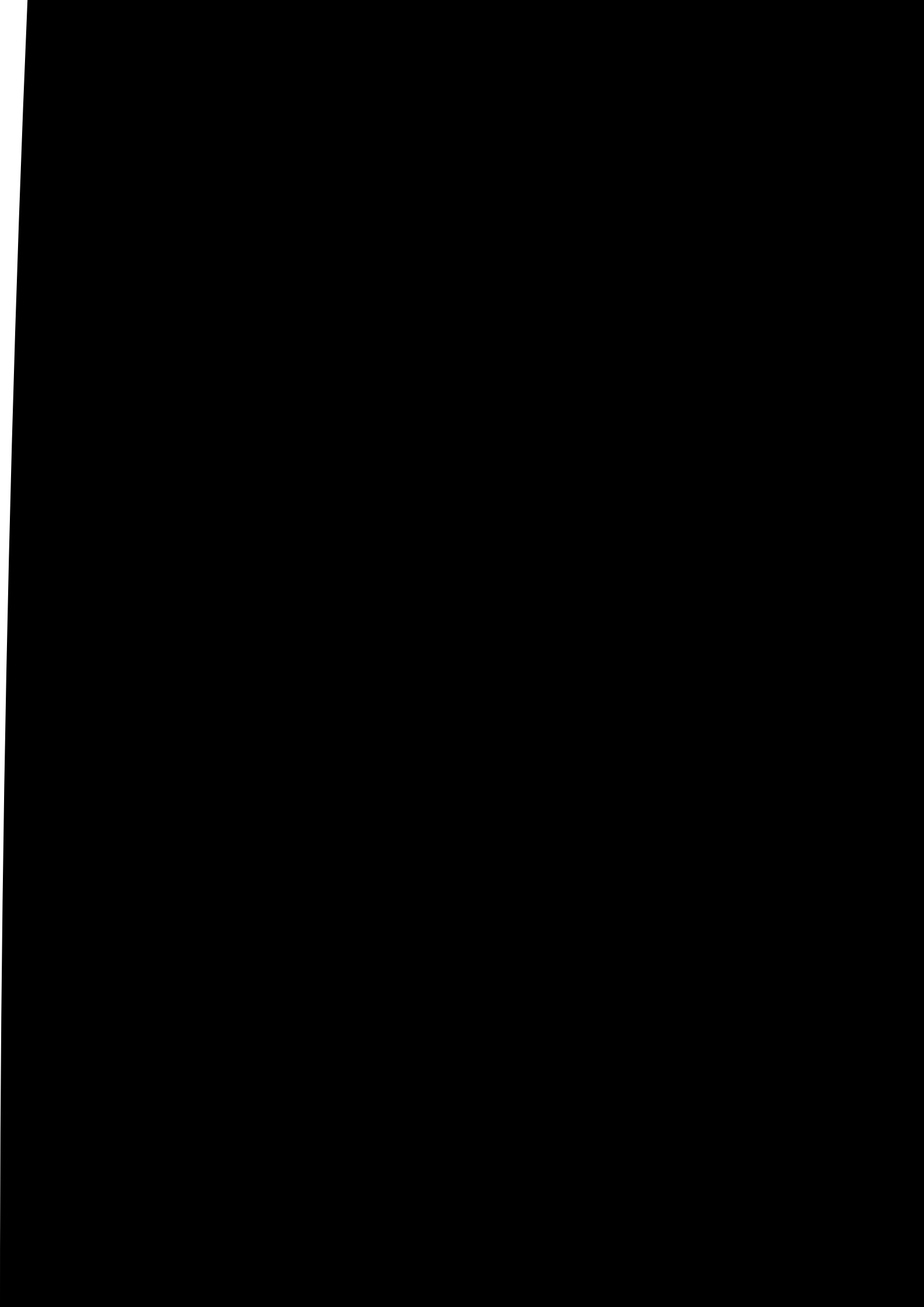


図 1-7 下流左岸圏域土地利用図（平成16年現在）



(3) 交 通

下流左岸圏域の交通については、明治中期までは西川を航路とした舟運が主な交通手段でした。本圏域内で産出される石炭、米、ハゼの実などはこの航路を通過して若松や芦屋の港に運ばれました。

しかし、鉄道が開通するとともに、次第に輸送手段は舟運から鉄道へと移行し、1938年（昭和13年）頃には舟運が姿を消しました。

本圏域の交通網の密度は高く、JR 鹿児島本



西川浸水状況(平成 11 年 6 月 29 日洪水)



西川浸水状況(平成 15 年 7 月 9 日洪水)

西川浸水状況(平成 18 年 6 月 23 日洪水)



戸切川浸水状況(平成 19 年 8 月 7 日洪水)



下流左岸圏域で確認された希少な動植物 (2)

ツチフキ



ドジョウ



ギギ



メダカ



カワアナゴ



トンガリササノハガイ



マツカサガイ



ヤマトシジミ



下流左岸圏域で確認された主な外来生物

オオキンケイギク



オオフサモ



オオカナダモ



カダヤシ



ブルーギル



オオクチバス



カムルチー



スクミリンゴガイ



アメリカザリガニ



下流左岸圏域で確認された移入種（魚類）

ワタカ



ハス

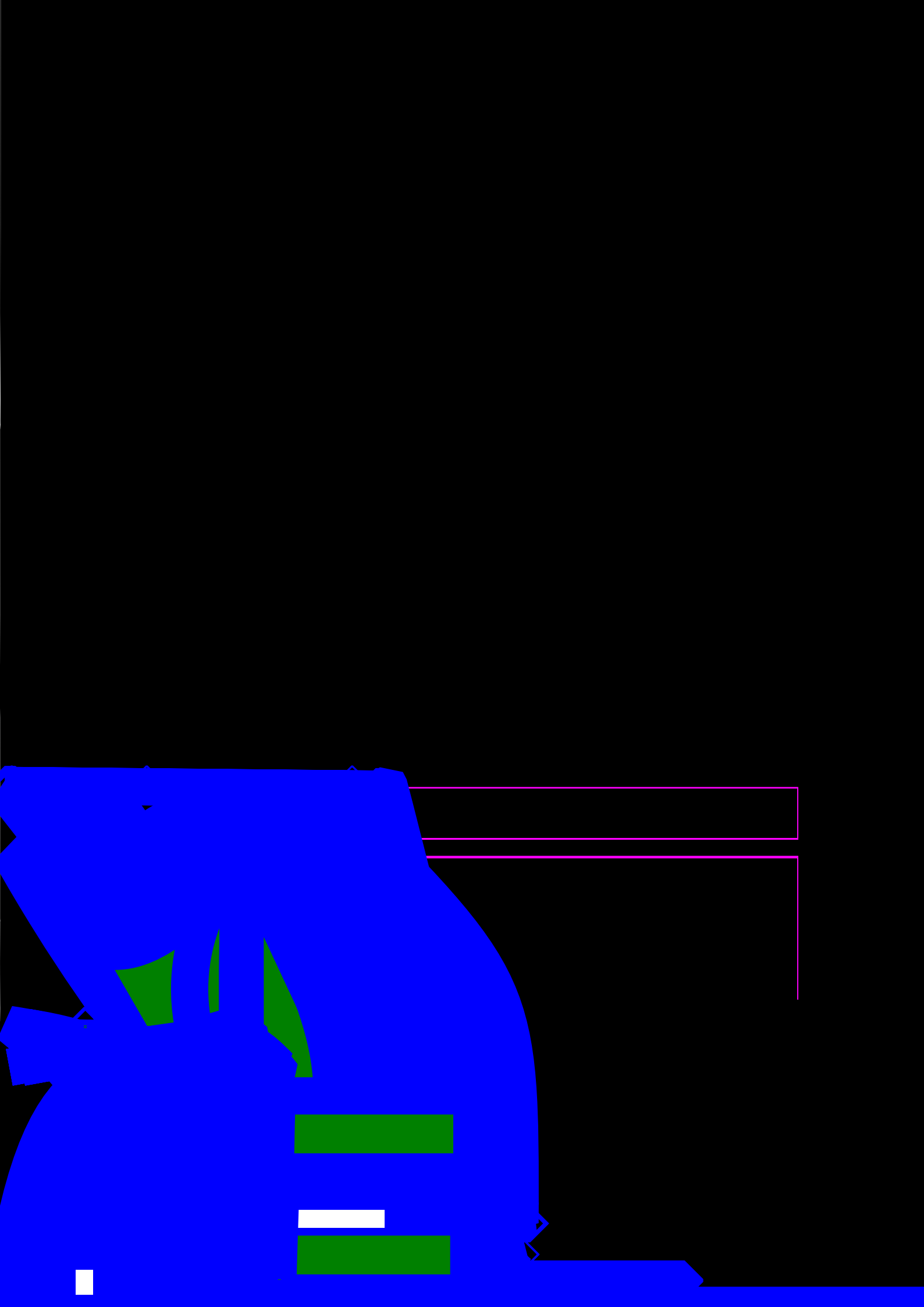


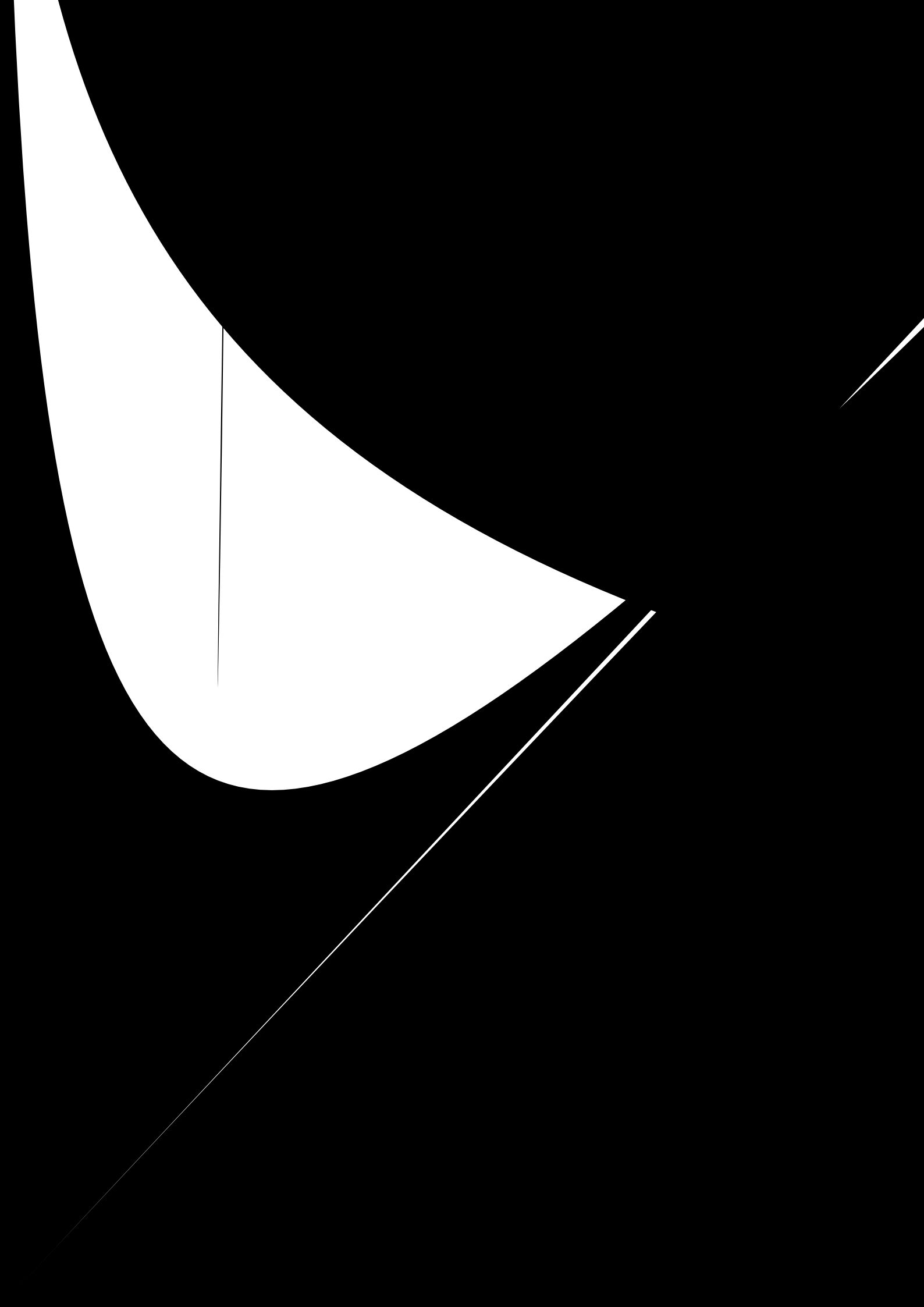
ゲンゴロウブナ



3. 河川の水質

下流左岸圏域における水質環境基準の類型指定状況は、西川全域がB類型に指定され、その他の河川については類型指定はなされていません。近年は、島津橋において環境基準値をほぼ満足している状況にあります。今後も、下水道事業の推進や地域住民及び関係機関と連携し、水質の維持





3-4 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

河川整備計画における災害の発生の防止又は軽減に関する目標は、近年の洪水被害の状況や頻度、氾濫した場合の被害の範囲の大きさ、流域内の人口や資産の状況等を勘案して決

本計画では、それらを考慮して、各河川、河川区ごとの整備目標を設定してしま

第4章 河川の整備の実施に関する事項

4-1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

1. 河川工事の目的、種類

西川では、整備計画目標流量の安全な流下を図ることを目的として、河道拡幅や掘削を行います。

戸切川では、整備計画目標流量の安全な流下を図ることを目的として、河道拡幅、掘削、築堤及び調節池の設置を行います。

2. 施行の場所

下流左岸圏域内の河道整備は、表 4-1 に示す区間を対象とします。

表 4-1 施行の場所

河川名	施行区間	施行延長
西川	小木橋 ～ 五反田橋	約 2.55km
戸切川	国道3号 ～ 戸切橋	約 2.08km

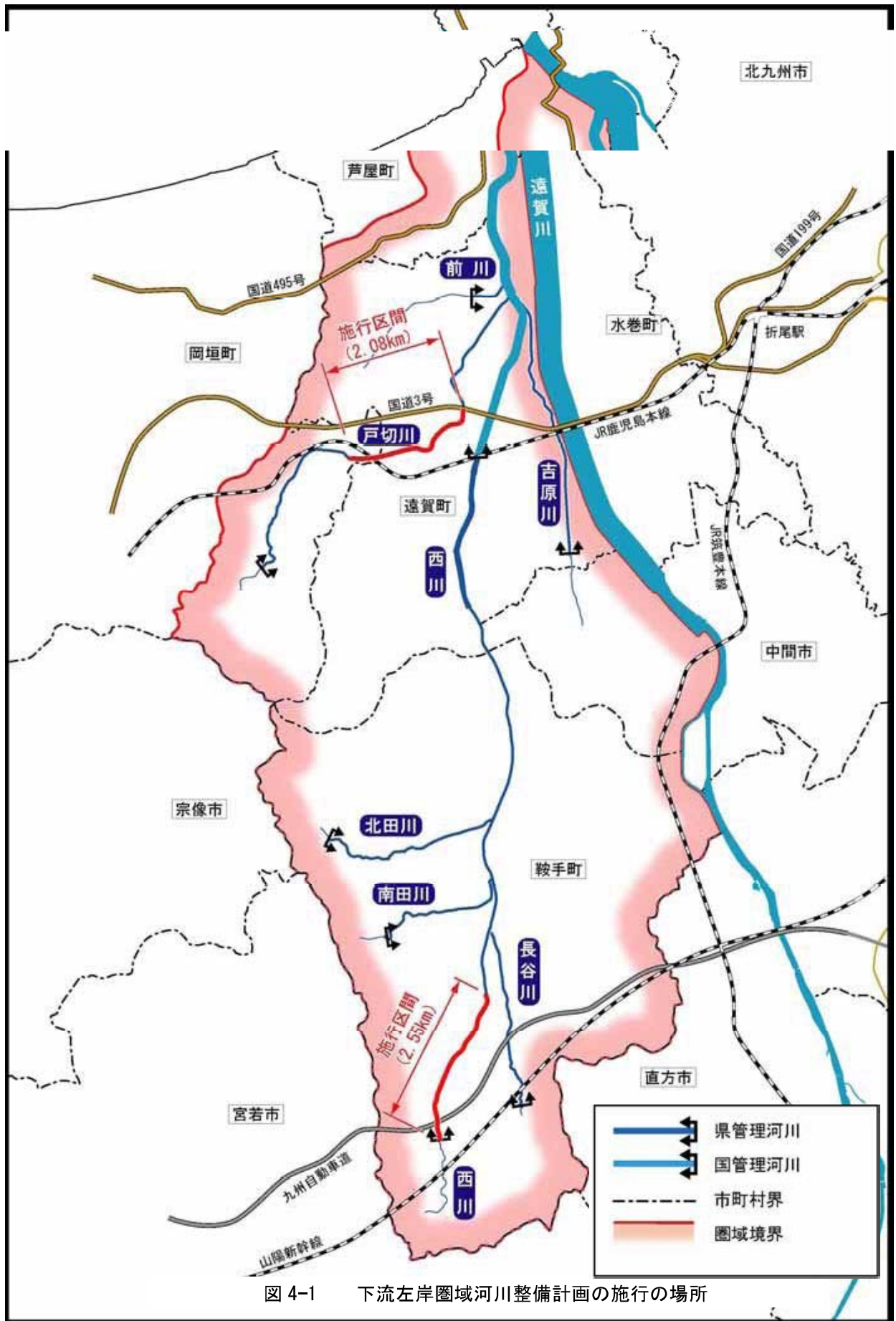


図 4-1 下流左岸圏域河川整備計画の施行の場所

3. 改修方針

(1) 西川（小木橋～五反田橋）

西川の改修方針は、整備計画の目標流量を安全に流下させることができない区間において、主に河道拡幅や掘削、橋梁、堰の改築を行います。また、必要に応じて、護岸、護床工の設置を行います。

なお、災害の発生の防止や軽減を目指した整備だけでなく、西川に生息する多様な生態系に配慮した多自然川づくりを以下の方針で行います。

- ・ 瀬・淵には、多くの魚類等の水生生物が生息しており、現況の河道形状を尊重したみお筋、瀬・淵の保全に努めます。
- ・ タナゴ類をはじめとする魚類の産卵場や稚魚、幼魚の生息場となっている水際植生の創出に努めます。
- ・ 魚類等の水生生物の生息域を確保するため、縦断的・横断的連続性の確保に努めます。
- ・ 緩流域に生息する魚類等の水生生物に配慮し、ワンド・淀みの創出に努めます。



西川施行区間の現況写真

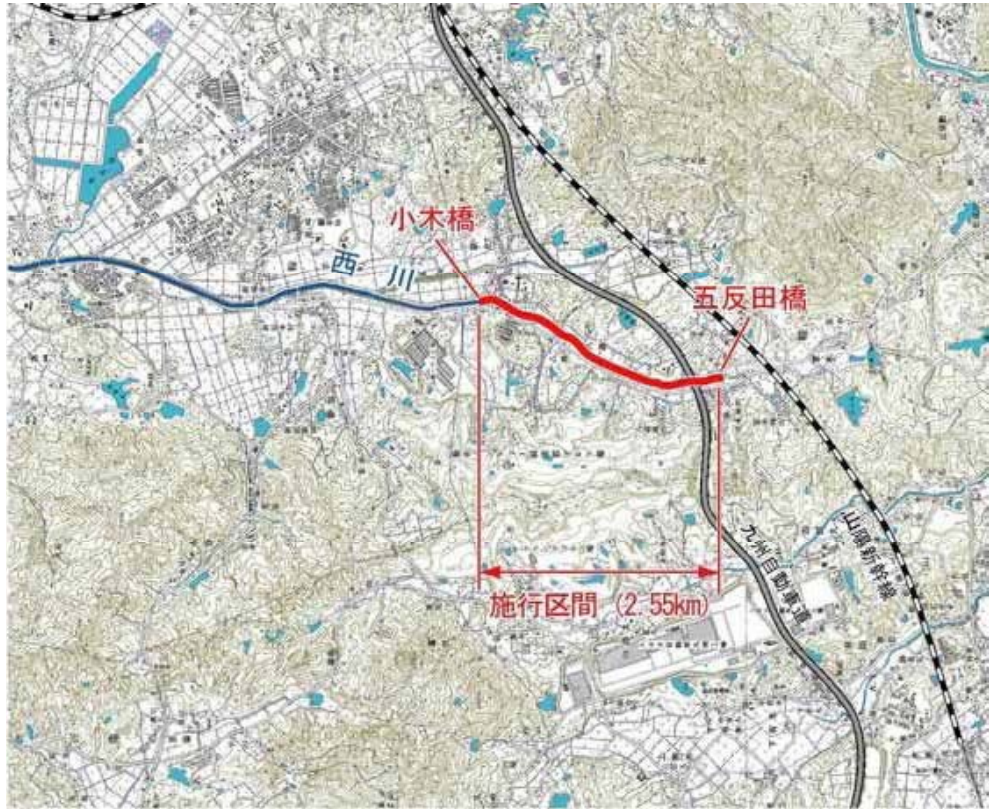


図 4-2 西川河川整備計画の施行の場所

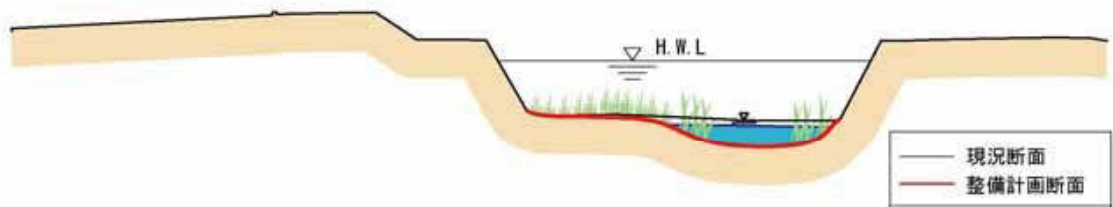


図 4-3(1) 西川河川整備計画代表横断面
(小木橋～太郎丸橋)

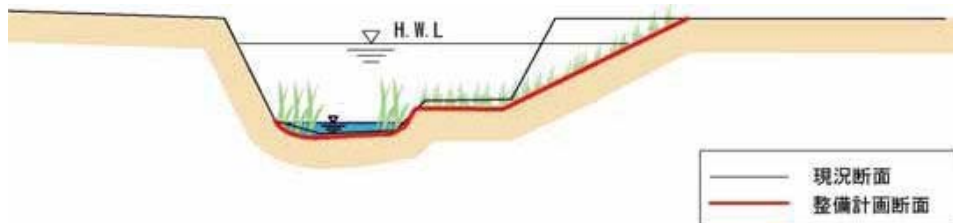
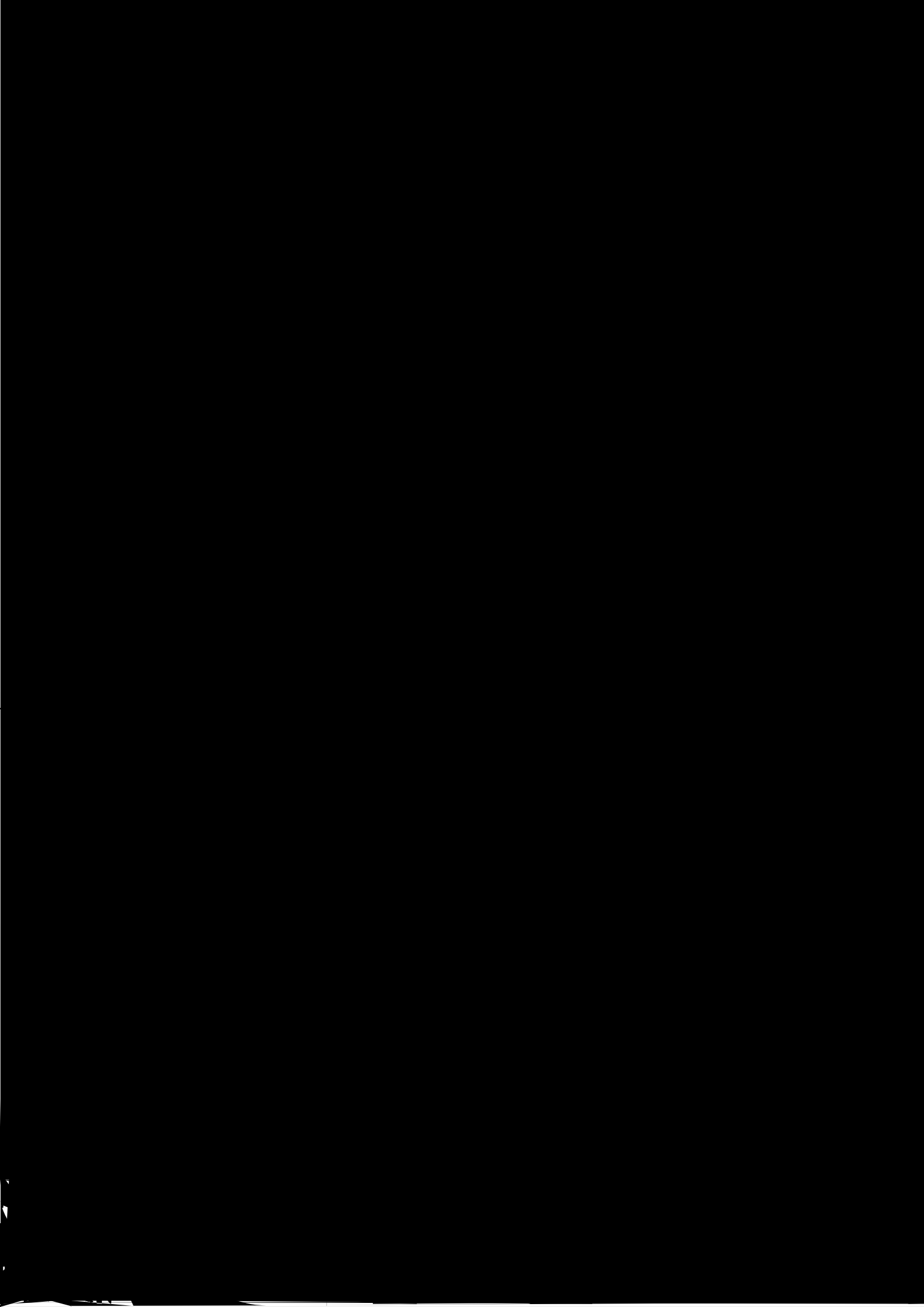


図 4-3(2) 西川河川整備計画代表横断面
(太郎丸橋～五反田橋)



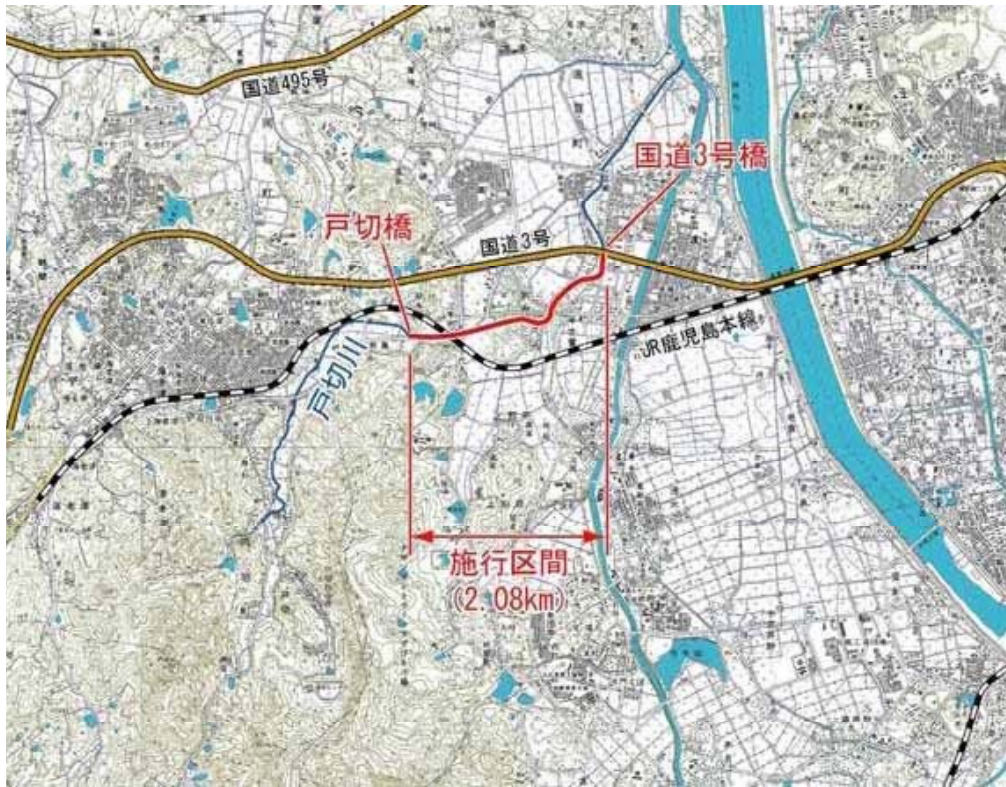


図 4-4 戸切川河川整備計画の施行の場所

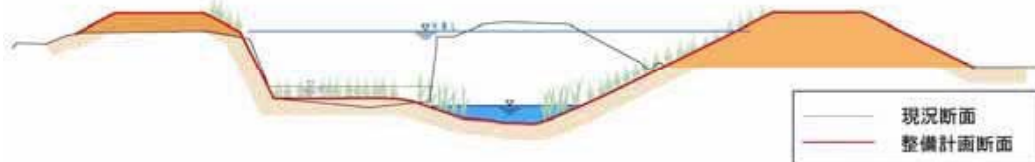


図 4-5 (1) 戸切川河川整備計画代表横断面図 (河道)



図 4-5 (2) 戸切川河川整備計画代表横断面図 (調節池)

